



公立大学法人富山県立大学

News Release

富山県立大学

○本事業に関するお問い合わせ：

地域協働支援室

統括コーディネーター 奥田 實

電話：0766-56-7500（内線）633

事務局教務課情報研究係 垣内（内線）229

平成29年8月7日



学生による滑川市の地域課題解決事業の中間報告会について

文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（※1）」について、本学から申請した事業（『工学心』で地域とつながる『地域協働型大学』の構築（※2））が採択され、地域との対話・協働・交流による教育・研究・社会貢献の取組を進めております。

この度、本学教員が滑川市へ地域課題解決事業として提案したプラン『他県から来た県大生が創る「オンライン・ガイドマップなめりかわ」』が採択され、今年度の授業「教養ゼミ（1年次）」を通じて平成30年1月末まで取り組みます。

今回は、その中間報告会を開催いたしますので、ご案内いたします。

- 開催日時 平成29年8月9日（水） 15:30～16:00
- 場 所 滑川市役所 3階会議室
- 内 容 滑川市への20-30代の移住促進の解決策の第1歩として、まず滑川市を訪れる交流人口を増やすことに、4月より他県出身者の県大生1年生が取り組んでいる。「滑川市のここ行きたい。これ見てみたい。これやってみたい。この人と会ってみたい。」と、「追体験してみたい」と思わせるコンテンツをまとめるため、隔週で滑川市に取材に入ってきた。取材地の選定など、地元の滑川観光協会、滑川コワーキングスペースTRIOと協力を仰ぎながら、「滑川・びっくりスポット(NBS)」と題してオンライン・ガイドマップに50本まとめた。どの世代も、最近の情報収集源は紙媒体ではなくネットからの情報が圧倒的であるというデータに基づき、このガイドブックは、スマホで見られることを想定したサイトになっていることも特徴の1つである。
今回は前期15週の活動のまとめとして中間報告を滑川市役所にて行う。また、後期15週の活動へのアドバイス、要望等を企画政策課から得る機会とする。
- 発表者 富山県立大学 教養ゼミI受講生 1年生 14名
- 指導教員 教養教育 准教授 清水 義彦
- 研究協力 滑川市役所企画政策課
富山県立大学地域協働支援室およびCOCOS
滑川市観光協会（廣橋 和親氏）
滑川コワーキングスペースTRIO（桶川高明氏）

※1 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」について

「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として、平成 25 年度新たに創設されたものです。

25 年度は、全国の各大学等から 319 件の申請があり、52 件が採択されました。

※2 『「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築』について

「富山県の発展を目指した県民の大学」という建学理念のもと、地域の課題に対して全学を挙げて取り組み、地域に役立つ技術者マインド「工学心」を持ち、地域課題を解決できる学生の育成を図るなど、「地域協働型大学」の構築を目指すものです。具体的には、例えば、少人数で行うゼミ形式の授業の中で、学生が多様な地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域産業の振興や超高齢化社会への対応など解決が困難な課題について、地域関係者と一緒に考えます。

学生自らがその課題をとらえ、また、その課題の解決のためどう取り組めばよいかを学修することを通じて、主体的に課題解決する能力を持った人材の育成を目指しています。



富山県立大学 平成25年度「地(知)の拠点整備事業」

「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築

地域に役立つ技術者マインド 「工学心」で地域とつながる全学的取り組み



「工学心」

人々の暮らしに役立つ「工学」、新しい高度な技術の創造への熱意

「地域とつながる」

- ・学生が積極的に地域と交流・対話・協働することにより、地域課題を肌で感じ、主体的に課題解決する能力の育成
- ・教員による地域志向の教育及び世界を目指す研究による地域との協働



「地域協働型大学」

- ・教育・研究・社会貢献の分野で全学的に地域課題に取り組む
- ・「工学心」を持ち、地域課題の解決に取り組む学生を育成